

平成 26 年度 ICT 人材育成セミナー 実施報告

1. 開催要項

- ・ 日時 平成 27 年 1 月 14 日（水） 15 時 00 分 ～ 16 時 30 分
- ・ 会場 国立長野高専 100 番教室 （電子情報棟 5F）
- ・ 講師 まつもと ゆきひろ氏 （Ruby の開発者）
株式会社ネットワーク応用通信研究所フェロー
一般財団法人 Ruby アソシエーション理事長
楽天株式会社楽天技術研究所フェロー
Heroku Chief Architect
- ・ 演題 「Ruby 開発の裏話 ～ICT を担う次世代の若者に向けて～」
- ・ 講義内容
 ハッカーになろう. という題から, ハックという言葉の元の意味や, この言葉が生まれた経緯の話に始まり, 自ら問題を解決するために 0 からものを作るのがハッカーであり, その精神はとても重要なものであると語られた.
 それに合わせて, インタープリンタ言語である Ruby を自らつくり上げた経緯や, そのとき考えていたこと, コミュニティーが広がり, Ruby が広まっていった経緯などを語られた. 教訓とはパターンのパターンであるという話から, 持っている者はますます与えられるという「マタイの法則」や, 日本の昔話である「わらしべ長者」から, 成功者に共通するパターンを紐解き, それらから得た教訓を自分に生かす考え方についてお話し頂いた.
- ・ 主催 特定非営利活動法人 長野情報通信研究所
- ・ 共催 信越情報通信懇談会
特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会
- ・ 後援 総務省信越総合通信局

2. 参加者

国立長野高専学生	電子情報工学科	5 年	2 6 名
	電子情報工学科	4 年	3 5 名
	電子制御工学科	4 年	3 0 名
	専攻科・5 年		1 0 名 (AP: 4、E: 1 0)
	1・2・3 年		1 7 名 (M: 1, E: 6, S: 3, J: 7)
一般参加者	企業 大学生		4 5 名
国立長野高専	教職員		3 名
講師 (まつもと ゆきひろ氏)			1 名
NPO 長野情報通信研究所関係者			4 名

参加者数合計 1 7 1 名



3. アンケート結果 以下にアンケート結果を示す。回収数は以下の通りである。

	参加者数(人)	アンケート回収数(人)
電子情報工学科 5年	26	18
電子情報工学科 4年	35	31
電子制御工学科 4年	30	25
その他 専攻科・5年	10	7
その他 1・2・3年	17	14
一般参加者(企業・大学生)	45	19
教職員・NPO関係者	8	2
合計	171	116

電子情報工学科 5年 (26名中18名回収)

- ① 今回のセミナーで、印象に残った言葉、感銘を受けた事など
- ・ ハッカーマインドという言葉に感銘を受けた。(3人)

- ・ 自分の価値の次元が一つではないという考えが印象に残った。(4人)
- ・ マタイの法則の例えが印象に残った。
- ・ 自分好きなことをすることが一番大切だと分かった。自分にフィードバックしていきたい。
- ・ ウサギとカメのレースが面白いと思った。(2人)
- ・ マタイの法則の例えが印象に残った。(3人)
- ・ マタイの法則とわらしべ長者の物語を結び付け、相対的な価値を生み出すという話に感銘を受けた。
- ・ モチベーションを保つために小さい目標を作って達成していくというのが印象に残り、実践していきたいと思った。
- ・ わらしべ長者の物語を例にとった話が印象に残った。
- ・ コンパイラはないが紙にプログラムを書いたという話に驚いた。
- ・ 実践し継続するという言葉が印象に残った。
- ・ 好きなことをすることが一番大切だと分かった。
- ・ 力を束ねる話が良いと思った。

② 感想・要望・意見など

- ・ 技術的な話についてもっと聞きたかった。
- ・ 将来について考える機会が与えられて良かった。

電子情報工学科 4年 (35名中31名回収)

① 今回のセミナーで、印象に残った言葉、感銘を受けた事など

- ・ メタパターンの重要さと考え方を学べてよかった。
- ・ 自分の価値の次元が一つではないという考えが印象に残った。(10人)
- ・ やはり天才はプログラミングが好きなのだと感じた。(2人)
- ・ 簡単に入手できるものからも価値は作れるというわらしべ長者の物語を例にとった話が印象に残った。(3人)
- ・ ハッカーマインドについて知ることができて良かった。(4人)
- ・ 自分のペースで自分に合った方法や場所でやればいいのだと思った。
- ・ マタイの法則の例えが印象に残った。(3人)
- ・ モチベーションを保つために小さい目標を作って達成していくというのが印象に残り、実践していきたいと思った。(3人)
- ・ 成功のパターンを引き出すという言葉が印象に残った。
- ・ 言語を自分でデザインしたいと思った。
- ・ スライドが話の中の大事なワードを一つだけ表示する形で見やすかった。
- ・ 実践し継続するという言葉が印象に残った。(3人)
- ・ 言語のデザインをするということは一つの世界を作るのと同じだという言葉に感銘を受けた。

② 感想・要望・意見など

- ・ Rubyでの実践をしてほしかった。
- ・ またこのような機会があれば参加したい。
- ・ もっと技術的な内容であってもいいと思った。
- ・ 失敗から学び、成功した人の話を聞きたい

電子制御工学科 4年 (30名中25名回収)

① 今回のセミナーで、印象に残った言葉、感銘を受けた事など

- ・ 自分の価値の1次元がではないという考えが印象に残った。(7人)
- ・ 簡単なものからも価値は作れるという言葉が印象に残った。(2人)
- ・ パターンのパターンを掴むのが成功への近道だと思った。(2人)
- ・ メディアが変化したという話が印象に残った。
- ・ 力を束ねると言う言葉に感銘を受けた。

- ・ マタイの法則の話が印象に残った。
 - ・ ハッカーマインドについて知ることができて良かった。(4人)
 - ・ 長野県民はそんなに虫を食べていない。
 - ・ 自由を選ぶために困難を選んだという話に感銘を受けた。
 - ・ モチベーションを保つために小さい目標を作って達成していくというのが印象に残り、実践していきたいと思った。
 - ・ わらしべ長者の物語を例にとった話が印象に残った。(2人)
 - ・ 成功するためへのプロセスの話が良かった。
 - ・ 自分の持っている物に気づくことが大事だと思った。
- ② 感想 ・ 要望 意見など
- ・ 技術的な話ではなくてよかった。(2人)
- ③ 次回のセミナーに希望すること
- ・ 日産の水野氏の講演を期待したい。

その他：専攻科・5年 (10名中7名回収)

- ① 今回のセミナーで、印象に残った言葉、感銘を受けた事など
- ・ ハッカーマインドについて知ることができて良かった。(3人)
 - ・ 自分の価値の次元が一つではないという考えが印象に残った。(2人)
 - ・ 自分を持っている状態にするというのが今後自分の長所をどう活かすか考える参考になった。

その他：1・2・3年 (17名中14名回収)

- ① 今回のセミナーで、印象に残った言葉、感銘を受けた事など
- ・ いろいろなエピソードを聞いて踏み出すことは本当に大事だと思った。
 - ・ きっかけはそこら中にあると改めて思ったので、これからはもっと頑張ってみようと思った。
 - ・ 一見価値を見いだせないものでも適切な使い道を見つければ価値のある良い物になるという考えはかなり頭に入った。
 - ・ メタフレーム (パターンのパターン) が印象に残った。(2人)
 - ・ Ruby を作った人と言うのでどんな人なのかと想像していたらとても気さくで驚いた。
 - ・ マタイの法則の話が印象に残った。
 - ・ インターネットをつなげるコストはかつて、今では考えられないほどかかっていたことに驚いた。将来はもっとコストが下がるのかということに興味を持った。
 - ・ 自分で言語とデザインをしてみたかった発想と言うのが普通ではない。
 - ・ すでに持っている人にさらに集まるというのはメタパターンの核心をついていると思った。まず持っている人になることが今の時代それほど難しくないことが分かった。
 - ・ わらしべ長者の話、簡単に入手できて価値を見出すことはたくさんの方に言えると感じた。
 - ・ ハッカーについての話を聞いたことで考えがかなり変わった。ハッカーマインドに近づけるよう日々頑張りたい。
- ② 感想・要望・意見など
- ・ 勉強の方法などを知りたい。
 - ・ 告知をもっとしっかりしてほしい。
- ③ 次回のセミナーに希望すること
- ・ また製作者の方の話を聞きたい。

その他：一般企業・教員・NPO 関係者 (53名中21名回収)

- ① 今回のセミナーで、印象に残った言葉、感銘を受けた事など
- ・ わらしべ長者の話、簡単に入手できて価値を見出すことは社内で取り組んでいる自社製品開発に通じるものがあると感じた。

- ・ ハッカーマインドについて知ることができて良かった。(5人)
 - ・ わらしべ長者の物語を例にとった話が印象に残った。(3人)
 - ・ 自分で決めるということは自己責任だという話が、正にそうだと感じた。(2人)
 - ・ 自分の価値の1次元がではないという考えが印象に残った。(3人)
 - ・ 当社の新人研修で利用したいと思った。
 - ・ マタイの法則の話が印象に残った。(3人)
 - ・ ウサギとカメが素晴らしい。
 - ・ これからはソフトウェアの時代だと再認識した。
- ② 感想・要望・意見など
- ・ 県内 IT 企業オフレコ座談会を開催してほしい。
- ③ 次回のセミナーに希望すること
- ・ 引き続き著名なエンジニアの話を知りたい。

4. まとめ

今回は、Rubyの開発者である まつもとゆきひろ 氏を講師にお招きし、90分に渡る講演をして頂いた。ハッカーになろうという切り口にはじまり Ruby 開発の経緯、自己責任、教訓、マタイの法則、価値の評価軸とどんどん引き込まれる話が続いて、飽きが来なく感銘できること、考えさせられることが多くあった。お金、能力、知識、知名度など個々の人は何かしらを持っている、それを適切な場所、1次元でなく多次元で見て、最適な場所に持って行く、そうするとますますその価値が高くなっていく。マタイの法則（「富める者はますます富み、貧しい者はますます貧しくなる」）を例に、「持っている者はますます与えられる」で締めくくられた。企業の方も多く参加されたが、どの世代にも、インパクトがある有意義な講演会であったと思う。

アンケート結果を見ると、情報系のことを知らない学生もわかる内容で、「わらしべ長者」、「マタイの法則」など分かり易い例をたくさん出して頂き、おもしろい話で引き込まれた、という感想が多かった。また、感銘を受けたことばに関して、特に「価値の評価軸は1次ではない」、「問題を小分けにして達成していくとモチベーションが下がらない」が多くの方より挙げられており、新しい考え方を知って良かった、感銘を受けたという感想が多かった。感想を見ても概ね満足に行く講演会になった。

(文責 国立長野高専 鈴木 宏)